

「フロン類ボンベ引取後の運搬中に発生した漏れ」に関する再発防止策について

自動車リサイクル法に関するご理解、ご協力を頂きましてありがとうございます。

先般、フロン類ボンベ引取後の運搬中にボンベのバルブが緩み、フロン類が漏れるという事故が発生致しました。本件に関して、7月18日経済産業省・環境省より、自動車製造業者・輸入業者の委託管理責任に対し、指導を受けました。（7月19日に弊社ホームページにてお伝えしている通りです。）

本件に関して、自動車製造業者・輸入業者は、7月30日、経済産業省・環境省に対して、下記改善策等の報告を行いましたのでお知らせ致します。

<改善策>

- ・ 運搬工程におけるボンベ取扱い作業時の取回し、作業マニュアルの見直し
- ・ ボンベ輸送パレットの施錠化等
- ・ ボンベへの漏れ防止キャップ取り付け
- ・ 運搬業務の管理体制見直し

関係各位には、多大なるご迷惑をおかけしたことを重ねてお詫び申し上げますとともに、自動車製造業者・輸入業者及び自動車再資源化協力機構は、再びこのような事案を繰り返すことのないよう、今後も密接に協力して確実・安全で効率的なフロン類の運搬に取り組んで参りますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上

平成19年7月31日

有限責任中間法人 自動車再資源化協力機構

いすゞ自動車(株)

トヨタ自動車(株)

富士重工業(株)

マツダ(株)

アウディジャパン(株)

ピー・イー・ジー・インポート(株)

フォード・ジャパン・リミテッド

ブジョー・ジャポン(株)

スズキ(株)

日産ディーゼル工業(株)

本田技研工業(株)

三菱自動車工業(株)

ダイムラー・クライスラー日本(株)

ビー・エム・ダブリュー(株)

フォルクスワーゲングループジャパン(株)

ダイハツ工業(株)

日野自動車(株)

日産自動車(株)

三菱ふそうトラック・バス(株)